

将来のビジネスにクラウド がもたらす 5 つの成功

5

クラウドのメリットをビジネスで利用するほど、将来に向けて万全の備えを講じることができます。IDC の将来対応指数によると、先進的な思考を持つ企業のほとんどが、次のような目的でクラウドテクノロジーを活用しています。

1 | さまざまなビジネス課題に対応

将来を見据えた組織の 32% 近くが、4 種類以上のクラウドを活用しています。その理由は、マルチクラウド戦略を採用することにより、それぞれの課題に的確に対応できるクラウドソリューションの選択が可能になります。

2 | アプリケーションの開発期間を短縮

手間がかかる複雑なアプリケーション開発は、もはや過去のもので、将来を見据えた組織の半数以上が、クラウドテクノロジーを活用することでアプリケーション開発にかかる時間を短縮しています。

3 | 十分なワークロードキャパシティーを提供

これまで IT マネージャは、リソースが不足しないように、必要以上のキャパシティーを購入してきました。将来を見据えた組織の 50% が、ニーズに応じたクラウドサービスの調整により、ビジネスリスクを軽減しています。

4 | モバイルデバイスをサポート

将来を見据えた組織の多くは、ワークプレースの柔軟性向上にクラウドを活用しています。さまざまなタイプのモバイルデバイスが登場し増加を続けていますが、その対応にクラウドコンピューティングを活用している企業は 50% にのびります。

5 | ビジネス成果を向上

将来を見据えた組織は、リソースの利用率、データアナリティクス、ビジネスアジリティといった分野において、より大きな成果を達成する方法としてクラウド戦略を活用しています。実際、クラウドを積極的に採用している企業の主要業績指標は、クラウドコンピューティングを活用していない企業の指標を常に 25 ~ 30% 上回っています。

あらゆるビジネス課題に備える

ビジネスアジリティ、顧客への即応性、さらには従業員の満足度を考えた場合、クラウドテクノロジーがこれまでにないレベルでこのようなニーズを満たしていることは明らかです。したがって、ビジネス課題に最適なクラウドを選ぶことが重要になります。インテル® プロセッサーを搭載するデルのクラウドソリューションは、業界標準をベースにしたホスティング型のプライベートおよびハイブリッドクラウドを幅広く展開しています。また、デルはあらゆるベンダーのソリューションについても的確にアドバイスし、ライフサイクルサポートを提供します。Intel Inside® 効果的なクラウドを。

... www.dell.co.jp/createyourcloud をご覧ください

出典：デルの IDC カスタムリサーチ、『The Future-Ready Enterprise: Driving Business Results Today While Preparing for the Challenges of Tomorrow (The Future-Ready Enterprise: 今日のビジネス推進と明日の課題への準備)』、2015 年 10 月。

インテルおよび Intel ロゴは米国およびその他の国における Intel Corporation の 商標または登録商標です。

Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、インテル、Intel ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、インテル Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、および Xeon Inside は、米国およびその他の国における Intel Corporation の 商標または登録商標です。

